

- コース距離：11.1km
- 歩行時間：4時間

- 1 日野駅
↓0.3km
- 2 日野八坂神社
↓0.3km
- 3 日野宿本陣
↓1.6km
- 4 日野橋
↓2.0km
- 5 青柳稲荷神社
↓2.5km
- 6 谷保天満宮
↓1.5km
- 7 武蔵府中熊野神社古墳
↓1.6km
- 8 高安寺
↓0.8km
- 9 大國魂神社
↓0.5km
- 10 府中駅

8 高安寺

府中市片町の旧甲州街道沿いにある曹洞宗の寺院。開基は室町幕府初代將軍足利尊氏で室町幕府によって武蔵国安国寺として位置づけられていた。江戸時代初期までは臨済宗の寺院であったが、天江東岳和尚により曹洞宗に改められた。江戸時代には徳川家から御朱印十五石が与えられていた。本堂や山門などに古刹の面影を残しており、多摩地域を代表する寺院の一つである。

6 谷保天満宮

国立市谷保にある神社。903年（延喜3年）2月に菅原道真が亡くなったとき、道真の子である道武が道真の像を自ら彫り、廟を建てて祀ったのが始まりとされる。921年（延喜21年）11月に道武が亡くなると、道武も相殿に合祀されたという。東日本最古の天満宮であり、亀戸天神社・湯島天満宮と合わせて関東三大天神と呼ばれる。

9 大國魂神社

府中市の中心地に位置する神社。武蔵国の総社であり、東京五社の一社でもある。武蔵国の一の宮から六の宮までを合わせ祀るため、「六所宮」とも呼ばれる。境内はかつての武蔵国の国府跡にあたり、境内の東隣には国の史跡「武蔵国府跡」がある。境内は多くの社殿が立ち並び、重要文化財の木造狛犬を初めとした文化財も多数残っている。府中市街中心部にあるが周辺は木々に囲まれており、参道の馬場大門のケヤキ並木は国の天然記念物に指定されている。

7 武蔵府中熊野神社古墳

府中市西府にある国内最大・最古の上円下方墳。国の史跡に指定されている。1段目は約32メートルの方形、2段目は約24メートルの方形、3段目が直径約16メートルの円形になる高さ約6メートルの3段構造となっている。墳丘の中心部に3室からなる横穴式石室がある。被葬者は不明だが、府中に国府が置かれる以前の有力者であると推測されている。

5 青柳稲荷神社

国立市青柳にある稲荷神社。青柳村はもともと現在の府中市本宿の多摩川南岸の青柳島にあったが1671年（寛文11年）、多摩川の大洪水によって青柳島が流失したため、村人たちはこの地に移住して、新たに青柳村を開拓した。この神社は1755年（宝暦5年）の創建で1889年（明治22年）に谷保村と合併される前は、青柳村の村社であったが、合併後は青柳と多摩川対岸にある石田両村の氏神となった。

10 府中駅

府中市宮町1丁目にある京王線の駅、「都会的で現代的なミュージアムをイメージさせる駅」として、関東の駅百選にも選定されている。ちなみに府中市は広島県にもあり、同じ市名が国内に2つあるのは府中市と伊達市（北海道と福島県）の2市だけである。

1 日野駅

日野市大坂上にあるJR東日本中央線の駅。駅のある場所が「多摩の米蔵」といわれる日野のなかでも「八丁田圃」と呼ばれる稲作地帯だったため、田園風景との調和を考えたデザインをとり入れた民芸調の入母屋造りの駅舎となっている。

4 日野橋

日野市と多摩川対岸の立川市を結ぶ橋。現在の甲州街道の一部となっている。江戸時代には橋はなく近くに日野の渡しがあった。日野橋は1926年（大正15年）に当時の国道8号（東京～甲府）が多摩川を渡る橋として開通した。これにより、日野の渡しは江戸時代初期から続いた270年あまりの歴史に幕を閉じた。

快汗ウォーキングコース

日野駅から府中駅まで 甲州街道沿いの見どころを 巡りながら歩く半日コース

2 日野八坂神社

日野市日野本町に鎮座する神社。旧社格は村社で、日野の総鎮守。祇園信仰の神社で、かつては牛頭天王を祀る「牛頭天王社」と称された。現在でも「天王様」と呼び崇敬する氏子が多い。新選組ゆかりの神社として知られ、近藤勇や沖田総司などが奉納した額が現存している。近年では多くの御朱印を用意し人気を博している。

3 日野宿本陣

日野宿本陣は東京都内に現存する唯一の本陣。江戸時代、甲州街道沿いには日野宿本陣のほか小原宿本陣（神奈川県相模原市）と下花咲宿本陣（山梨県大月市）の3カ所に本陣があったが、日野宿は本陣と脇本陣が長屋門を構えて並び立ち、ひときわ威容を誇っていた。日野出身の新選組副長土方歳三ゆかりの場所としても有名。一般公開されており、誰でも本陣内部を見学することができる。

日野宿本陣内部

谷保天満宮の臥牛